

# FISU ヘルシーキャンパス認証制度とSDGsの関連性

Relevance of the FISU Healthy Campus Certification System to the SDGs

小林 勝法\*

Katsunori Kobayashi

## Abstract

The International University Sports Federation (FISU) launched and started its Healthy Campus Certification System in 2020. According to FISU, this certification system is strongly linked to 10 of the 17 sustainable development goals (SDGs) set by the United Nations. FISU's evaluation criteria include a total of 100 items in 7 areas; however, the relationship between these items and the SDGs is not specifically stated. Therefore, I examined FISU's explanation by matching FISU's evaluation items with the 169 targets of the SDGs and found that they are related to 6 goals. FISU subsequently presented 130 initiatives as good practices of a healthy campus, and the document shows the relationship with the SDGs for each case study. Therefore, I examined which of the SDG goals these good practices are related to and found that they are related to 7 goals. Based on the above, it seems appropriate to illustrate the relevance of these 7 goals to the SDGs as examples, rather than the 10 goals.

## キーワード：

国際大学スポーツ連盟、持続可能な開発目標、ヘルスプロモーション

## 1. 研究課題の背景

世界各国の大学で取り組まれてきたヘルシーキャンパスの推進は、1986年の世界保健機関（以下「WHO」と略す）の「ヘルスプロモーションに関するオタワ憲章」に端を発している（WHO、1986）。この憲章では、行政が行う公衆衛生だけでなく、当事者の主体性を重視し、各個人がよりよい健康のために行動できるように、環境を整えることの重要性が示された。この考え方を受けてヨーロッパでは、初中等教育においてヘルス・プロモートイング・スクールやヘルシー・スクールという新しい学校の在り方が推進されてきた（吉田ほか、

2017）。そして、WHOは“Health Promoting Universities”を1989年に発行し、大学におけるヘルスプロモーションを促した（Tsouros, A.D. et al.,1998）。その後、各国の大学で取り組みが進められてきたが、2015年頃からは国連が定めた持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals、以下「SDGs」と略す）の達成も企図したものへと進化してきた（小林・北、2023）。2015年にカナダのブリティッシュコロンビアで開催されたヘルシーキャンパスに関する国際会議では「オカナガン憲章：健康を増進する大学のための国際憲章」が採択された（International Conference on Health Promoting Universities & Colleges, 2015）。

\* 文教大学国際学部国際観光学科、教授

この憲章では、「健康を増進する大学は、現在と未来の社会の健康とサステナビリティを変革し、コミュニティを強化し、人、場所、地球の幸福に貢献する。」と記されている。そして、このオカナガン憲章を大学が採択し、ヘルシーキャンパスに取り組むことを推奨する国際組織が発足している (International Health Promoting Universities and Colleges, online)。2023年10月1日時点での加盟国・地域は15である。このようにヘルシーキャンパスの取り組みが世界で広がっているものの、これらの組織では、加盟大学がオカナガン憲章を採択し、各大学の实情に即して行動計画を策定するに留まっている。

他方、国際大学スポーツ連盟 (以下「FISU」と略す) では2020年からヘルシーキャンパスの認証制度を行っている。この認証制度の100の評価項目はSDGsの17のゴールのうち、10のゴールとの関連性が強いと説明している。評価項目を示した文書には、「国連が定める持続可能な開発目標 (SDGs) のほとんどに貢献することができる。FISUのヘルシーキャンパス基準は、健康と福祉だけでなく、質の高い教育、ジェンダー平等、不平等の解消、安価でクリーンなエネルギー、住み続けられるまちづくり、責任ある消費と生産、気候変動対策、平和と公正、パートナーシップも含んでいる。」と記されている (International University Sports Federation, 2020, p.8)。つまり、SDGsのうち、3番と4番、5番、10番、7番、11番、12番、13番、16番、17番と関連があるとのことである。しかし、評価項目の100項目とSDGsとの具体的な対応関係は示されていない。そこで、FISUの100項目とSDGsの17ゴールおよび169ターゲットを突き合わせ、FISUの説明を検証する。

また、FISUはヘルシーキャンパスの優良事例として130件の取り組みを紹介しており、その文書では事例ごとにSDGsとの関連を示している (International University Sports

Federation, 2022)。そこで、これらの優良事例がSDGsのどのゴールと関連しているかも計量的に明らかにする。

### 1.1 FISU ヘルシーキャンパス認証制度

国際大学スポーツ連盟 (International University Sports Federation、仏語では Fédération Internationale du Sport Universitaire) は、FISU ワールドユニバーシティゲームズ (旧称: ユニバーシアード競技大会) や世界大学選手権などを開催していることで知られているが、そのほかにも教育プログラムとしてはFISU ワールドフォーラムやFISU ボランティア・リーダーズ・アカデミーなど、そして、研究集会としてFISU ワールドカンファレンスを開催している。各国の大学スポーツ連盟が加盟し、2023年4月現在の加盟数は163カ国である。そのFISUが2020年から新しい取り組みとしてHealthy Campus 認証制度を開始した。2023年7月15日時点で、世界で59大学が認証されている (International University Sports Federation, online)。具体的には、バルセロナ自治大学やジュネーブ大学、アントワープ大学、北京大学などである。

この制度の目的は、学生の幸福と健康的なライフスタイルを保証することである。そして、評価基準は、7つの領域と100項目から構成されている (表1)。7つの領域は、「マネジメント」と「身体活動とスポーツ」と「栄養」、「病気の予防」、「精神のおよび社会的健康」、「リスク行動」、「環境、持続可能性、社会的責任」であり、保健管理全般に加えて、身体活動とSDGsが含まれている。項目数は、「マネジメント」と「身体活動とスポーツ」がそれぞれ33項目で、合計すると全体の7割近くになる。「身体活動とスポーツ」の項目では屋内施設と屋外施設、水泳プールの保有がそれぞれ1項目となっており、この領域に重点が置かれている。一方、「リスク行動」では、アルコールや薬物、ドーピング、タバコが一括されて1項目となっている。

また、ドーピング防止教育を1項目として加えていることが特徴的である。そして、認証評価においては、提出を求められる根拠資料が項目ごとに提示されている。

この100項目の内、基準を満たした数によって認証のステータスが異なる。1年目は「認証(Certified)」だけであるが、2年目の最終認証ではブロンズからプラチナの4段階で認証され

る。

## 1.2 SDGsの17ゴールと169ターゲット

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までの国際目標である (国際連合、2015)。国際連合が2001

表1 評価項目の領域と項目数、主な内容

領域	項目数	主な内容
マネジメント	33	リーダーシップ、ビジョン、アクションプラン、ステークホルダー、ネットワーク、イベント、評価・改善など
身体活動・スポーツ	33	ビジョン、ミッション、予算、サービス、専門家、スポーツ施設、安全管理、男女共同参画推進、イベントなど
栄養	8	食事提供サービス、飲料水提供、栄養相談など
疾病予防	7	非伝染性疾患予防、ワクチン接種、健康診断など
精神のおよび社会的健康	8	カウンセリングサービス、福利厚生など
リスク行動	5	飲酒、薬物乱用、喫煙などに関する教育プログラムなど
環境、持続可能性、社会的責任	6	環境負荷低減、パートナーシップ計画など

注. 100評価項目の全訳は小林・北 (2023) に記載されている。

年に策定したミレニアム開発目標 (MDGs) の後継であり、17のゴール・169のターゲットから構成されている。17のゴールとゴールごとのターゲットの数を表2に示す。

## 2. 研究目的と方法

### 2.1 研究目的

本研究の目的は、FISU ヘルシーキャンパスの評価項目とSDGsとの関連性を明らかにし、「SDGsの10ゴールと関連がある」とするFISUの説明を検証することである。具体的には以下の2点である。

- ① FISU ヘルシーキャンパスの100評価項目とSDGsの169ターゲットを照合し、両者の関連性を明らかにする。
- ② FISU ヘルシーキャンパスの優良事例130件が関連しているSDGsを明らかにする。

表2 SDGsのゴールとターゲット数

	ゴール	ターゲット数
1	貧困をなくそう	7
2	飢餓をゼロ	8
3	すべての人に健康と福祉を	13
4	質の高い教育をみんなに	10
5	ジェンダー平等を実現しよう	9
6	安全な水とトイレを世界中に	8
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	5
8	働きがいも経済	12
9	産業と技術革新の基盤を作ろう	8
10	人や国の不平等をなくそう	10
11	住み続けられるまちづくりを	10
12	つくる責任、つかう責任	11
13	気候変動に具体的な対策を	5
14	海の豊かさを守ろう	10
15	陸の豊かさを守ろう	12
16	平和と公正をすべての人に	12
17	パートナーシップで目標を達成しよう	19
計		169

## 2.2 研究方法

上記の研究目的を達成するために、以下の2つの方法で研究する。

- ① FISU ヘルシーキャンパスの100 評価項目とSDGs の169 ターゲットを照合し、合致した項目・ターゲットの数を一覧表にし、計量的に両者の関係を考察する。
- ② FISU ヘルシーキャンパスの優良事例130 件が貢献しているSDGs をゴール別に集計し、計量的に両者の関係を考察する。

なお、調査対象とする優良事例とは、FISU が2022年に公表した“FUSU Healthy Campus Best Practices 2021”に掲載されている130件である(International University Sports Federation,2022)。130件は評価領域別に分類され、1件について1ページで紹介されている(図1)。掲載内容は、大学名、プログラム名と概要、評価領域・項目、対象者、実施組織、ゴール、ビジョン、評価などである。そして、そのプログラムが貢献しているSDGsをカラーで示している。図1に示した北京大学の場合は、「ナイトラン」という学生を対象とし

たプログラムで、毎週火曜日と木曜日の夜9時から10時に競技場でランニングをすることが記されている。学生によるオンライン投票で決定された音楽が屋外スピーカーから流され、それを聴きながら走る。毎回1,500人以上が参加している。プログラムの目的は、学生の健康と幸福を促進するために、学生が自発的に運動に参加するようにさせ、運動を楽しみ、習慣化させることである。学生からは好意的に評価されている。評価領域は「身体活動とスポーツ」で、評価項目は34番(大学の事情に対応した身体活動プログラム)である。貢献するSDGsは、SDG3(すべての人に健康と福祉を)とSDG4(質の高い教育をみんなに)、SDG11(住み続けられるまちづくりを)の3つである。

## 3. 結果

### 3.1 FISU ヘルシーキャンパスの100 評価項目とSDGs の169 ターゲット

FISU ヘルシーキャンパスの100 評価項目とSDGs の169 ターゲットを照合した結果、合致した評価項目・ターゲットは26 評価項目であっ

The image shows a webpage for the 'Night Run' project at Peking University. The page is titled '2021 FISU Healthy Campus Best Practices' and 'PEKING UNIVERSITY'. It contains several sections: 'Name of the project' (Night Run), 'Domain' (Physical activity and sport), 'Criteria' (The university processes physical activity and sport programmes that consider the specific needs and characteristics of the campus community), 'Keywords' (University Sport, Physical Activity, Good Health and Well-being, Sustainable Cities and Communities, University Students, Outdoor Activities, Running), 'Target & Stakeholders' (University Students), 'Time & Frame' (Tuesday and Thursday every semester. Since 2014, from 9 pm to 10 pm), 'Team & Staff' (Department of PE, PKU), 'Description' (Night Run happens on the May 4<sup>th</sup> Playground twice a week and lasts for an hour per time. Students run in the company of music coming from outdoor speakers. The playlists under specific themes are decided through online voting by students. This event is held around 40 times every year, with more than 1500 participants each time. In the fall semester of 2020, the number of participants reached 23811.), 'Main Goals' (Attract students to participate in physical activities on their own initiative through abundant and active forms; Let students enjoy exercising; Make physical exercise a habit of them; Help them develop perseverance; Promote students' health and well-being.), 'Motivation & Vision' (Make interest the trigger for students to participate in physical activities more actively and enjoy sports.), 'Evaluation' (The evaluation is based on the number of participants in Night Run and extracurricular exercise. By choosing themes, picking playlists and managing activities on their own, Night Run, which emphasizes self-education, has made running on the playground a joint expectation for students and received positive responses from students.), 'Lessons Learnt' (It is beneficial to provide students with opportunities to exercise regularly in a proper way through a well-organised activity.), and 'Recommendations' (Helping students develop the habit of physical exercise calls for regular, interesting and attractive activities organised by the sports department of the university. Night Run, which has been held for 6 years, has become a key event of PKU sports and will be carried into the future.). There are also photos of the event, including 'May 4<sup>th</sup> Playground', 'Night Run', and another 'Night Run' photo. The page includes navigation buttons like 'BACK TO CONTENTS', 'NEXT', and 'PREVIOUS'. At the bottom, it says 'INTERNATIONAL UNIVERSITY SPORTS FEDERATION | 41'.

図1 優良事例 (北京大学、ナイトラン)

た。その一覧を表3に示す。なお、和訳は小林・北(2023)と外務省(online)を参考にした。また、合致していないがSDGsに関する記述がある評価項目の11と25も加えた。そして、合致した評価領域・SDGsターゲットの数を評価領域別・SDGs別に一覧表にした(表4)。FISUがSDGsと関連するとしているゴール番号を太字で表した。SDGs別に見ると最も多いのがSDG3(すべての人に健康と福祉を)で13ターゲットであった。次いで、SDG10(人や国の不平等をなくそう)とSDG17(パートナーシップで目標を達成しよう)が3であった。SDG2(飢餓をゼロに)とSDG4(質の高い教育をみんなに)、SDG6(安全な水とトイレを世界中に)、SDG12(つくる責任、つかう責任)が2であった。そして、SDG5(ジェンダー平等を実現しよう)が1で、そのほかのSDGsは0であった。したがって、FISUが関連すると主張する10ゴールのうち6ゴールとの関連が確認できたが、4ゴール(7, 11, 13, 16)との関連は確認できなかった。そして、関連するとは説明されていない2ゴール(2と6)との関連が示された。

### 3.2 FISUヘルシーキャンパスの優良事例 130件が関連しているSDGs

優良事例130件が関連しているSDGsをゴール別・評価領域別に集計した結果を表5に示す。どのSDGsもFISUの評価領域との関連性が示された。FISUの評価領域別にみると、「1. マネジメント」と「2. 身体活動・スポーツ」、「7. 環境・サステナビリティ・社会的責任」が多くのSDGsと関連している。一方、「4. 疾病予防」はSDG3だけと関連している。

SDGsのゴール別の集計結果では、SDG3(すべての人に健康と福祉を)が120件と最も多く、次いで、SDG4(質の高い教育をみんなに)が66件、SDG12(つくる責任、つかう責任)が55件であった。ゴール別件数をヒストグラムにして図2に示す。件数の平均値である32.8

件を超えているのは、上記3ゴールの他に、SDG10(人や国の不平等をなくそう)、SDG11(住み続けられるまちづくりを)、SDG16(平和と公正をすべての人に)、SDG17(パートナーシップで目標を達成しよう)であった。

### 4. 考察

FISUの評価項目(100)とSDGsのターゲット(169)を照合したところ、延べ26項目が延べ28ターゲットと合致したことから、「FISUヘルシーキャンパスはSDGsに貢献する」ことが確認できた。しかし、SDGsのゴール別に集計したところ、FISUが関連するとしている10ゴールのうち4ゴールについては、合致が見られなかった。ただし、評価項目11と25は以下に示すようにSDGs全般との関連を示していることから、合致しなかった4ゴールについても無関係であるとは判断できない。

- ・評価項目11:ヘルシーキャンパス活動を行う際には、その活動がSDGsや人権、・(中略)・に直接的に貢献することを考慮する。
- ・評価項目25:大学はキャンパスコミュニティのために、SDGs、人権、・(中略)・との整合性を重視したヘルシーキャンパスの各領域をカバーするイベント、・(中略)・、トレーニングを開催している。

そして、ヘルシーキャンパス優良事例130件について集計した結果、全てのSDGsとの関連が確認できた。特に、SDG3(すべての人に健康と福祉を)、SDG4(質の高い教育をみんなに)、SDG10(人や国の不平等をなくそう)、SDG11(住み続けられるまちづくりを)、SDG12(つくる責任、つかう責任)、SDG16(平和と公正をすべての人に)、SDG17(パートナーシップで目標を達成しよう)の7ゴールとの強い関連が見られた。以上のことから、10ゴールではなく、これらの7ゴールを例示し、SDGsとの関連性を説明するのが妥当だと思われる。

なお、本研究で分析の対象にした優良事例は

表3 合致した評価項目とターゲット

FISU 評価領域・項目		SDGs ターゲット		
マネジメント	4	大学は、ヘルシーキャンパスの分野に関連するステークホルダーとその活動を特定し、相乗効果を得たり、新たなパートナーシップを提案したりする。	17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。
	11	ヘルシーキャンパスの範囲に含まれる各領域について、少なくとも1つの戦略的焦点を含む。ヘルシーキャンパスのビジョンと戦略を策定することにより、大学は測定可能な目標、行動計画、指標を定義する。注1：ヘルシーキャンパス活動を行う際には、その活動がSDGsや人権、国内・国際レベルの関連政策の実施に直接的に貢献することを考慮する。	-	
	21	ヘルシーキャンパスの範囲に関するプロジェクトにおいて、大学は外部のステークホルダーと協働している。	17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。
	25	大学は、キャンパスコミュニティのために、SDGs、人権、国内および国際レベルの関連政策との整合性を重視したヘルシーキャンパスの各領域をカバーするイベント、ワークショップ、会議、セミナー、トレーニングを開催している。	-	
身体活動・スポーツ	44	大学は、スポーツ施設へのアクセスを容易にし、潜在的な障壁を取り除く。	4a	子供、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。
	47	身体活動やスポーツにおける男女共同参画推進のためのプログラムを大学が支援または組織している。	10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
	48	大学は、障害者のための身体活動やスポーツのプログラムを支援または組織している。	5.1	あらゆる場所における全ての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
			4a	子供、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。
栄養	71	キャンパス内には無料の飲料水ステーションがある。	6.1	2030年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。
	72	大学では、学内向けに栄養相談を行っている。	2.2	5歳未満の子供の発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。
	73	大学は、食品・栄養ケータリングサービスや食事が環境に与える影響を最小限に抑えるための戦略を追求する。	6.3	2030年までに、汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加させることにより、水質を改善する。
	74	大学では、キャンパス内の自動販売機で栄養価の高い高品質の商品を提供することを徹底している。	2.2	5歳未満の子供の発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。
疾病予防	75	大学は、非伝染性疾患のリスクを低減するための具体的な行動を計画し、実施し、評価する。	3.4	2030年までに、非伝染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
	76	大学では、少なくとも年に一度、非伝染性疾患の予防プログラムを実施している。		
	77	大学は、ワクチン接種の利点について宣伝または通知し、関連する場合は、学生にとって手頃な価格でワクチンを揃う。	3.b	主に開発途上国に影響を及ぼす感染性及び非伝染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援する。また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護及び、特に全ての人々への医薬品のアクセス提供にかかわる「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）」の柔軟性に関する規定を最大限に行使する開発途上国の権利を確約したものである。
	79	大学では、少なくとも年に一度、感染症予防のためのプログラムを実施している。	3.3	2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。
会精神・健康・社	82	精神的・社会的健康に関する情報をキャンパスコミュニティに発信している。	3.4	2030年までに、非伝染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
	83	大学では、専門家による精神的・社会的健康についての検診、アセスメント、評価をキャンパスコミュニティに対して行っている。		
リスク行動	90	アルコール、薬物、ドーピング、タバコの問題については、大学が適用規則を決定している。	3.5	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。全ての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。
	91	大学では、アルコール、薬物、ドーピング、タバコの観点から予防プログラムを組織している。	3.5	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。全ての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。
	92	大学では、ドーピング防止のための教育プログラムを実施している。	3.5	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。
	93	大学は、性の健康増進に関するプログラムを通知し、組織している。	3.7	2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。
環境・サステナビリティ・社会的責任	94	大学では、差別を受ける可能性のあるグループに対するいじめや暴力を減らすための予防プログラムを組織している。	10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
	96	大学は、社会的責任活動を実施し、社会的包摂と結束を促進するために、外部のステークホルダーとのパートナーシップ計画を策定する。	17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。
	98	大学は、環境負荷を低減し、キャンパスの魅力な緑地（公園や運動場、森や自然の草地）および青地（水が見えるキャンパスデザイン：湖や池、噴水、プール）を増やすための具体的な行動を計画、実施、評価、改善する。	12.8	2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
100	大学は、施設のエネルギー消費量を削減し、廃棄物を極力出さないための具体的な行動を計画、実施、評価、改善する。	12.5	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	

表4 合致した評価領域とSDGsターゲットの数

FISU 評価領域 (項目数)\SDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	計
マネジメント (33)																	2	2
身体活動・スポーツ (33)				2	1					2								5
栄養 (8)		2				2												4
疾病予防 (7)			5															5
精神のおよび社会的健康 (8)			2															2
リスク行動 (5)			4							1								5
環境、持続可能性、社会的責任 (6)												2					1	3
計 (延べ数)	0	2	13	2	1	2	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	3	-

表5 優良事例の評価領域別・SDGs別件数

FISU 評価領域 (評価項目数)	優良事例数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
マネジメント (33)	29	2	2	27	25	15	2	13	12	10	21	22	26	11	1	8	27	27
身体活動・スポーツ (33)	34			31	27	13			1	7	13	11	1	2			9	15
栄養 (8)	19			12	19	4	3						19	4			4	
疾病予防 (7)	13			13														
精神のおよび社会的健康 (8)	16			16	8						2							
リスク行動 (5)	7		1	7									1					2
環境、持続可能性、社会的責任 (6)	12	1	3	7	2		3	7		2	3	6	8	8	2	5		5
計	130	3	18	120	66	28	8	20	13	19	39	39	55	25	3	13	40	49

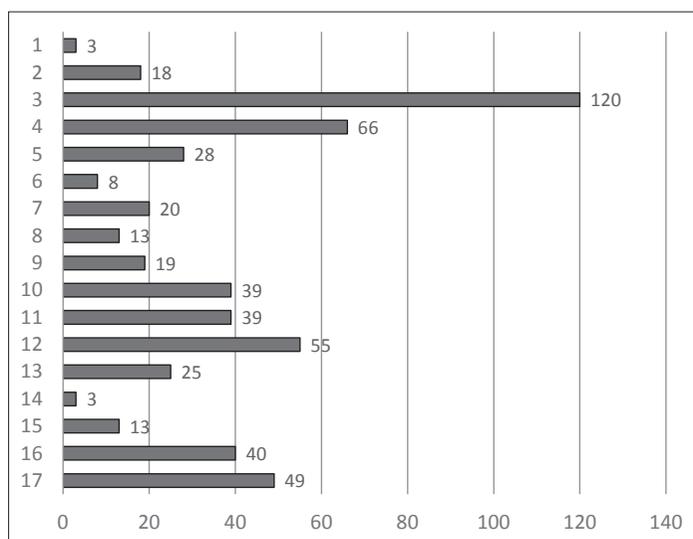


図2 優良事例のSDGs別件数

2021年の130件だけであった。今後、新たに優良事例が公表されれば、それらを含めて分析することでより精度が高い分析が可能になる。それらの公表を待ちたい。そして、将来、評価項目が改定される時には、SDGsとの関連性が一層強調されるかもしれない。今後の動向に注視したい。

## 参考文献

---

外務省 (online). SDG グローバル指標 (SDG Indicators).

(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/statistics/goal3.html>)

International Conference on Health Promoting Universities & Colleges (2015). Okanagan Charter: An International Charter for Health Promoting Universities and Colleges.

(<https://open.library.ubc.ca/cIRcle/collections/53926/items/1.0132754>)

(2023年10月1日参照)

International Health Promoting Universities and Colleges (online).

(<https://www.healthpromotingcampuses.org>) (2023年10月1日参照)

International University Sports Federation (online). (<https://www.fisu.net/>)

(2023年7月15日参照)

International University Sports Federation (2020). Healthy Campus Standard.

([https://www.fisu.net/medias/fichiers/healthycampus\\_regulations\\_30.pdf](https://www.fisu.net/medias/fichiers/healthycampus_regulations_30.pdf))

International University Sports Federation (2022). FUSU Healthy Campus Best Practices 2021. ([https://www.fisu.net/medias/fichiers/healthy\\_campus\\_interactive\\_e\\_book.pdf](https://www.fisu.net/medias/fichiers/healthy_campus_interactive_e_book.pdf))

小林勝法・北徹朗 (2023). Healthy Campus に関する世界の動向と国際大学スポーツ連盟

の認証制度, 大学体育: 121,104-112.

国際連合 (2015). 我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ (外務省仮訳).

(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402.pdf>)

Tsouros, A.D., Dowding, G., Thompson, J. & Dooris, M. (1998). Health Promoting Universities: concept, experience and framework for action. World Health Organization.

吉田成章・赤星まゆみ・山本ベバリーアン・高橋洋行 (2017). EU 諸国等における学校基盤包括的健康教育カリキュラムの動向, 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部: 66, 31-40.

World Health Organization (1986). Ottawa charter for health promotion.

(<https://www.who.int/publications/item/ottawa-charter-for-health-promotion>)

(2023年4月1日参照)